

ロードライン 7000 黄鉛・クロムフリー 製品使用説明書

日本ライナー株式会社

- 規格
- JIS K 5665 2種B 適合品
- 系統
- 加熱用 溶剤型アクリル樹脂系路面標示用塗料
- 特徴
- 重金属である鉛およびクロム化合物を含まない環境配慮型商品です。
 - 新設アスファルト舗装に塗装してもにじみがなく、速乾性に優れ、スプレーパターン良好に塗装できます。
 - 耐摩耗性に優れ満足のいく、耐久性を発揮します。
 - ガラスビーズの固着性がよく、優れた夜間視認性（反射輝度）を示します。

□塗料性状

色相	黄色	
光沢	つや消し	
密度g/cm ³ (23℃)	1.4	
加熱残分 (%)	71	
引火点	4℃	
発火点	427℃	
危険物表示	合成樹脂エナメル塗料	
危険物区分	第1石油類	
危険等級	II (火気厳禁)	
有機溶剤区分	第2種有機溶剤等	
有害物表示	トルエン	5~10%
	酢酸エチル	10~20%
	クロム酸鉛	非該当

※性能数値は、実績に基づいた代表値です。

- 荷姿
- 金属製ドラム 160ℓ
 - 石油缶 14ℓ
- 塗装方法
- 使用上の注意
- 取扱い時は、保護手袋、保護メガネ、保護靴、前掛け等を必ず着用してください。
 - 使用前に十分に混合、攪拌してください。
 - 希釈溶剤：ロードライン 3000 シンナー
 - 加温条件：50~80℃
 - 塗装終了後、直ちに熱交換機の水温が高い状態のまま塗料の循環を止めると、変色や塊の発生による詰りの恐れがあるため、なるべく塗料温度が30℃以下に低下するまで循環を続けて下さい。
 - 塗装時および塗料取扱時は十分に換気を行ってください。火気厳禁です。
 - 過剰な厚塗りは乾燥を遅らせ、また、薄塗りは「透け」や耐久性が劣る原因になりますので、適正量で塗装して下さい。
 - 下記の環境条件での施工は控えて下さい。
 - ① 気温が5℃以下の場合
 - ② 相対湿度が85%以上の場合
 - ③ 施工後2時間以内に降雨が予想される場合

ロードライン 7000 黄鉛・クロムフリー 製品使用説明書

日本ライナー株式会社

④ 降雨などで路面が濡れている場合

部分的にわずかに濡れている路面であればバーナー等で十分に乾燥させて下さい。

⑤ 凍結路面や凍結防止剤などの残存が認められる場合

⑥ 強風や粉塵が多く、スプレーパターンが安定しない場合

□下地調整

- ・アスファルト面：砂塵、ゴミ、油分等を除去し清浄な面にして下さい。
- ・コンクリート面：打設直後は養生期間をおき、ニッペ浸透性シーラーを 0.15 kg/m²/回塗布し、十分に乾燥させてから塗装して下さい。
- ・旧塗膜面：旧塗膜上を清浄な面にして下さい。旧塗膜の劣化が著しい場合は、旧塗膜を除去して下さい。

□マーカークの 設定

- ・標準塗布量：0.4 l/m²
- ・設定施工速度：6 km/hr (20 cm巾) ・ 8 km/hr (15 cm巾)
- ・設定条件：《一次ポンプ》エア調整圧：0.2~0.4MPa(体積比) 5：1
《二次ポンプ》エア調整圧：0.3~0.5MPa(体積比) 20：1
《チップNo.》使用例；東洋内燃機製 100200 (20cm幅用)、100150 (15cm幅用)
- *二次ポンプのエア調整圧を 0.3~0.5MPa の範囲で吐出量を測定し、エア調整圧を決定して下さい。
キャリブレーション実施と同時に、スプレーパターンの確認をして下さい。
- *塗布量及び施工速度、設定条件は標準的数値です。舗装種別や路面形状、素地状態、塗装機能力、ポンプ型式、ノズルチップNo、加熱温度、気象条件により、増減幅を生じます。

□廃棄上の 注意

- ・産業廃棄物の分類
 - ①残塗料および洗浄シンナー [特別管理、廃油]
 - ②ドラム缶の内袋 [廃プラスチック類]
 - ③石油缶、ドラム缶 [金属くず]
- ・塗料や洗浄シンナー等が直接、地面・河川・排水溝に流れ込まないように注意してください。
- ・不法投棄や不適正処理を行った場合、厳しく罰せられます。
生活環境保全を考慮し、適切な対応をお願いします。

□注意事項

- ・直射日光下や雨ざらし、缶蓋に雨水が溜まったまま保管しないで下さい。
- ・法規制に従って保管してください。
- ・水やアルキド樹脂系塗料など他品種塗料および専用シンナー以外の混入は絶対に避けてください。
降雨や結露などの水分及び他品種塗料が混入しますとゲル化し塊が発生する恐れがあります。
- ・ゲル化した塗料をそのまま継続して使用しないでください。
塗膜の耐久性に影響を及ぼす場合や塗装機器の異常や損傷をきたす恐れがあります。
- ・作業前にラベルに記載する「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ・製品に何らかの異常がある場合は、直ちにラベル等に記載する当社の連絡先までご連絡をお願い致します。
- ・急きょ法規制等の改正がある場合、事前にお知らせができずに記載内容を変更、改正する事があります。
- ・製品の成分情報や緊急時の措置などの明細な内容は「SDS」をご参照ください。